

第31回（平成28年12月）「工学部学友会」理事会の記録

- (1) 日 時 : 平成28年12月18日(日) 14:00~16:50
(2) 場 所 : ザ・草津タワー 会議室
(3) 出席者 : 立入会長、国領副会長、安田特別理事、松下代表理事、藤田・内片・山添・谷川
長谷・若林・奥・平野・廣岡・藤浪各理事、(14/19名)
(4) 議事内容 (司会; 平野理事)
配布資料
・第31回「工学部学友会」理事会開催案内及び議題
・平成28年度「工学部学友会」活動計画・実績1612
・「工学部学友会」総会収支決算
・「工学部学友会」第三回総会 案内状送付先
・「工学部学友会」第三回総会 出欠予実
・学年幹事への第三回総会冊子の送付
・総会(第1回~第3回)出席者分布
・「湖風会」平成28年度 第5回役員会次第
・京都ビジネス交流フェア2017 パンフレット

1、立入会長の挨拶(要旨)

こんにちは、年末の日曜日でお忙しい中出席いただき有難うございます。

関係の方々には、総会の後処理をしっかりとって頂き、有難うございました。藤井合金さん、麗光のトップの方にお会いした時冊子送付のお礼をされました。

今回の理事会は、昨年10月から総会の準備を進めて、11月12日、皆さんのお陰を持ちまして、好天にも恵まれ、102名の出席を得て無事、成功裡に終わることが出来ました。

今日は、議題にあるように、総会の課題、改善点などを話しあい、次回のより良い総会に資したいと思います。宜しくお願いします。

2、第3回「工学部学友会」総会を振り返って

立入会長総括; どんな行事でも、準備が大切で、役割分担を決め全員が一致協力してやるのが肝要であることを痛感しました。しかし何かしら落ち度があるもので、そういった点を次どうするべきかに繋げていければと思います。

安田先生には、会場・学生さんの応援等の手配を始め多大の尽力を頂きました。成功への大きな要素であったと思います。

課題として若い世代(県大卒を含む40~60歳代)の参画を望んでいます。

① 総会を振り返って「総会準備日程計画表」に基づく各項目グループでの反省

a) 決算、出席状況、案内状送付、その返信状況等について・・・藤浪

1) 収支決算について、

資料に基づき、収支を報告した。ほぼ試算に近い実績を得られた。

2) 出席状況について

出席者は、102名となった。これは前日(11/11)時点の予定114名の約90%となった。当日欠席の方14名、予定外の当日参加者2名。

尚、軽食は希望予定者97名のところ、90食の手配をしていたが、実績はピッタリ90食であった。

3) 出席者の卒年別、クラス別分布について

第1回~第3回の出席者の分布を棒グラフで示したが65歳以上の高齢の方に偏っている傾向が顕著に表れている。第3回に安田先生の声掛けして頂いたおかげで、H04卒、H25~H28年卒の県大卒の参加者があり良い傾向がみられるが、組織の

継続性という観点からも若返りの方策を課題として真剣に取り組む必要がある。
又、クラス会開催回数との相関を見たが、やはりクラス会を開催し、クラス員相互の交流があるクラスは出席者が多い傾向が見られた。が、クラス会を開催されているが、出席者が無いクラスも散見される。こういったクラスは、そのクラス会の幹事さんに学年幹事をお願いすることも検討する必要があるかもしれない。

4) 案内状送付について

今回、来賓、教職員会員、学年幹事総数 180 名に案内状を送付した。回を重ねるごとに送案内状、封筒の印刷の手間、郵送費が増加している。

次回以降の課題として、メールによる案内を検討すると共に、メールアドレスの開示者を増やす仕掛けが求められる。

5) 返信状況について

今回学年幹事宛の案内状送付数は 112 名であったが、返信があったクラスは 34 クラスで、返信率は 30.4%の低率であった。内、幹事が出席したクラスは 17 クラス、幹事は欠席であったがクラス員の出席があったクラスが 11 クラスで、出席者があったクラスは 28 クラス (25%) であった。

学友会からの案内が学年幹事に止まりクラス員に伝わっていないクラスが多いことを示しているデータである。

学年幹事を介して情報を伝達するシステムの課題であるが、やはり情熱と責任感を持った幹事の選任が必要であり、名簿管理チームの検討課題としても取り組んでいく。

b) 案内状返信状況 . . . 長谷理事

今回は、学友会の総会の当日に湖風会 10 周年記念行事・懇親会、マンドリンクラブの同窓会、湖風祭が重なった。学友会総会の参加者を増やすためにも、重ならない開催の環境を整備すべきではないか。

次回に向けての反省点を纏めており、次回の案内の出しかたを考えていきたいと思っている。

c) 冊子について . . . 国領副会長

今回初めて業者に印刷を依頼した。250 部印刷で、単価 500 円位で出来た。

出来栄としては満足できるものになったと考えている。

編集で一番困ったことは、出席者名簿の確定である。内容が二転三転する情報ということはあるが、どこかの時点で締め切らざるを得なかった。

- 1) 2 年前のテニスの集いの写真で画素数が小さいという申し出が印刷業者から出たが、これは学生が撮った写真で、すでに卒業しており入手困難であった。今後は撮影時の生データを必ずもらうように「湖風会テニスの集い」の幹事に依頼した。

- 2) 現時点で 105 部の在庫あり。

d) 協賛広告について . . . 内片理事

今回の実績は 20 団体 311,000 円であった。

- 1) 広告の内容で一部誤植があった (OB の名前、企業のロゴ色)

企業から原稿をもらうか、確認をとる必要がある。

すでに HP にアップしたもので、名前間違いやアドレス間違い等は訂正する。

e) 工学部 Open lab. 準備と本番実施について . . . 安田特別理事

- 1) 工学部でメールを流し、参加を募ったら 12 の研究室が参加すると回答があった。それほど準備には困っていない。

- 2) ツアーを組むにあたり、材料科学、機械システム+電子システムの 2 系統としたが、各ツアーの見学ラボが 6 か所になり、先生方に一か所 3 分をお願いしていたところ 3 分は短いと指摘されたが今回は時間の関係でそれで実施した。見学者側としても 3 分は短いと感じた。

50分の時間、一か所の時間を増やすために見学ラボの数を減らすことも考える必要がある。

- 3) 見学ツアーを含め総会全体として、参加者の評価を得て次の改善のため、アンケート調査をしたらどうかという意見がでた。次回の課題とする。

f) 看板類について . . . 藤浪

特に問題は無かったと思っているが、事前の会場の確認をしなかったので適当に枚数を設定したが、やはり事前に会場を確認し、貼る場所と枚数を設定すべきである。

g) 受付（学友会総会）について . . . 藤田理事

小谷口・廣岡・藤田理事及び H04 卒の女性の応援を得て受付を行った。

- 1) 学長への出席要請には、ご本人だけでなく秘書の方に連絡し、スケジュール帳に記載してもらうようにすること。
- 2) 今回受付で、ある学年幹事の方が同じクラスの参加予定者の方の受付を確認されたら、未着と答えられたので、見学ツアーにも参加せず受付前で待っていたが現れなかった。その方は実は受付を済ませ、見学ツアーにも参加されていたとのこと。総会后、幹事さんから、その方になぜ来なかったかと問い合わせ、この行き違いが判り、厳しい抗議を頂いた。今回は学友会としての懇親会が無かったので名札を準備しなかったことも関連するが、再発防止策を纏め、マニュアル化しておく必要がある。

h) 受付（湖風会）について . . . 奥・若林理事

どういう手順で受付しているのかわからない状態で、ぶっつけ本番で現場対応しなければならぬ状態であった。事前の準備が大切だと痛感した。

参加を申し込んでいたのに事務局が名簿記載を落としていた方がいた。

i) 式次第進行 . . . 吉田理事（当日欠席）

j) 軽食について . . . 国領副会長

- 1) 大学生協とサンドイッチ詰め込み業者との連絡不足の為、箸がついておらず迷惑をかけた。
- 2) 発注数は当日欠席者を見込み決め、今回はぴしゃりの中したが、今後このようなケースでは悩むがよい方策がない。一つの策としては郵便振込での申し込みもある。

k) ビデオ撮影、記念写真、HP について . . . 山添理事

- 1) 集合写真で場所の制約と調整不足もあって、特に最上段の人たちに顔が写っていない方、隠れてしまった方など約 10 名と多くあった。

プリント写真を申し込まれた方は 7 名であった。送付した方から顔が写っていないとかのクレームは無かった。10 枚以上を想定していたので、若干の赤字が出た。

次回からプリントの提供は、割り切ってなしとしたい。

- 2) HP に集合写真をアップしてから平均 7~8 回/日のアクセスがあった。
- 3) ビデオについては、会長の挨拶と活動報告のみを You Tube にアップし、学友会 HP に埋め込んで見られるようにした。また、You Tube でも見られるようにもした。
- 4) ラボの見学ツアーの写真もアップした。

写真の説明が入っていないので、安田先生に協力頂いて簡単な説明を追記する。

② その他（気づいた点、感想）

a) 学友会の総会の規模としては 100 名程度が適切なのではないか。

b) できるなら、工学部の Home coming day と併せての総会開催がいいのではないか。開学 20 周年の時 Home coming day を開催し、Open lab. と懇親会を行った。その折定期的に開催してほしいとの要望がでており、工学部としても今後どうしようかという話が出ている。

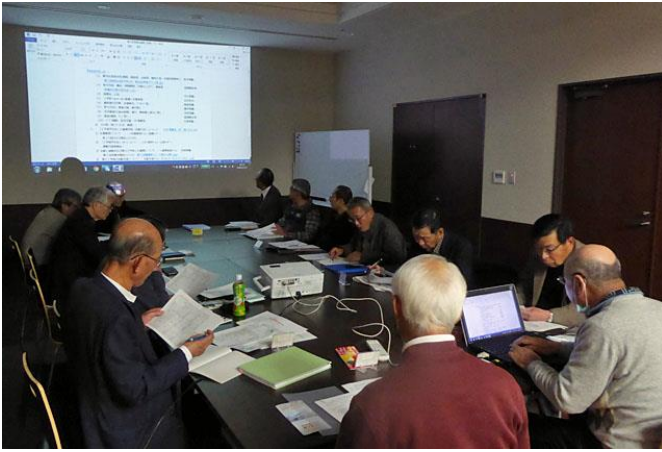
3、「工学部学友会」の事業内容について

- ①会員と湖風会及び県大工学部との連携について・・・<連携推進チーム> 松下リター（若林理事代理）
- a) 湖風会関連報告
- 1) H28 年度第 5 回役員会（12/10 開催、若林理事が代理出席）
 - イ) 役員総数 28 名の内、出席者 9 名、委任状 11 名で開催。
 - ロ) 広報委員会で、湖風会館建設の寄付募金を 2 次まで行い、1780 万円募ったが一旦締め切り整理することを決定した。
 - ハ) 学友会からは、11/12 第三回総会を開催し 102 名の参加を得て盛況裡に終えてことを報告した。
 - 二) 名簿発行は、発行総数 2793 冊、名簿購入者は代引発送者 342 名を含め 1975 名で購入予定者 1865 名を上回った。
 - ホ) 記念誌は 3500 部作成し、配布部数は 2693 部で在庫が 800 部ある。@500 円で販売したい。
 - ハ) 記念行事の参加者は、記念講演 129 名、記念式典 131 名、懇親会 105 名であった。この内、学友会関連の懇親会参加者が予定 65 名に対し、実績 42 名で 64.5%にとどまり、湖風会に費用的な面でも迷惑をかけた。全体の参加者の内、70 歳以上が 52%、60 歳以上が 90%となり高齢化が顕著。懇親会の収支は 6 万円の赤字。
 - ト) 次回役員会は 2/11→2/18 に変更し、15：30 から大学との意見交換会、18：00 から交流会を開催する。
 - チ) 平成 29 年度の総会は H29 年 6 月 24 日開催で準備する。
 - リ) 次回総会に向けて役員、評議員の人選を行うが、役員の任期 2 年の内一回も出席の無かった役員、2 期 4 年応信の無かった評議員は意向を確認する方向。
 - ヌ) シンボルマークが決まったが、「湖風会」の文字を金文体に変更したい。また、その使用規定を検討し決定する。
- ② 名簿管理について・・・<名簿管理チーム> 国領リター
 今回総会の案内をした学年幹事の応答も出席率が悪かったので、学年幹事が機能していないクラスが多い。学年幹事をその実際の動きを評価層別し、対応策を検討する。
- ③ 「工学部学友会」HP について・・・<HP 維持チーム> 山添リター
 前回の理事会以降掲載した記事は、湖風会テニスの集い、第三回学友会総会、クラス会（4 件）である。掲示板は迷惑投稿が多発するので廃止し、代わりにクラス会便り（県大卒）に変更した。その掲示板の代わりとして Facebook を検討したい。
- ④ 県大工学部の活動支援について・・・<活動支援チーム> 立入りリター
- a) 京都府中小企業技術センター主催の第 4 回ものづくり基盤技術セミナーが開催され、県大の南川久人教授が講演される。
 日時；H29 年 1 月 31 日 14：00～16：30
 場所；京都府産業支援センター
 会費；1000 円
 定員；40 名（先着順）
 興味のある方は申し込んで下さい。
 - b) 京都ビジネス交流フェア 2017 について
 京都産業 2 1 主催の京都ビジネス交流フェア 2017 が、2017 年 3 月 1 日～2 日に開催される。今回も県立大学工学部の出展が決まっている。
- ⑤ 同好会活動について・・・各世話役
- a) カラオケ愛好会・・・内片世話役
 次回 H29 年 2 月 19 日、パナソニックリゾート大阪で開催される理事会後、カラオケ愛

好会を開催予定している。

⑥ 事務局

理事会終了後、懇親忘年会を催した。



次回、第 32 回理事会開催予定

日 時；平成 29 年 2 月 19 日（日）13：00～

場 所；パナソニックリゾート大阪 会議室

議 題；別途案内します

以上。